

## 10106飲料（酒類を除く）製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起 因 物 (小)	労働 者規 模
1	2017	12	17~18	当社敷地内のゴミ置き場において、ゴミ分別作業中、瓶入りの袋を開けたところ、割れた瓶が入っており、破片の先が指の根元に当たり、切れて出血した。	65	8	529	10~ 29
2	2017	11	13~ 14	当社工場内タンクの洗浄作業を終え、タンクから降りようとしていた。タンク横のホモゲナイザー機のカバーの天板に清掃道具を乗せていた為、右足を間天板に乗せ踏んだ際、長靴の底が滑り天板の角に右太ももを打撲したが動けたのでそのまま作業を続けた。自分の判断で大丈夫だと思いそのまま放置した。後日、内出血し腫れているようなので病院を受診した。その後、通常通りの勤務が出来ていたが、しばらく経って高熱が出たので病院へ行くと化膿していて、そのまま入院となった。	34	90	911	100~ 299
3	2017	11	11~ 12	研修室で下処理の洗い物をしていた。忙しくトイレの上にあったはさみが水槽に落ちたのに気付かず洗いを続けたため、はさみの刃が右手薬指に当たってしまった。	41	8	379	10~ 29
4	2017	10	9~ 10	容器洗い場で、洗い作業中空容器の乗ったパレットを移動しているのを手伝おうと近づいたところ、空容器が倒れかかってきて支えきれず後ろに倒れ、後頭部を打ち、左手の上に倒れてきた容器が当たり、指の爪を裂傷した。	31	5	611	30~ 49
				プラットホームの建物と建物の境、屋根のつなぎ目から雨水が落ちるため、雨水を受けるための桶があり、排水のためり				

5	2017	10	16～ 17	フトで桶を持ち上げて作業していた時、リフトの持ち上げる角度が高くなるにつれ桶にかかるリフトのつめが浅くなり、誤って桶がすべり落ち、30cm位の高さから傾ける補助をしていた私の左足の上にとんと落ち、左足の親指と人差し指を骨折した。（安全靴装着）（桶80cm×130cm×60cm雨水の量も含め約500kg）	42	4	391	100～ 299
6	2017	10	18～ 19	工場内で、製品の検品作業中、製品（500PET×24本）を運ぼうとしている時に、腰に違和感を感じ、徐々に痛みが増し動けなくなった。	38	19	921	50～ 99
7	2017	10	10～ 11	通路（廊下）トイレ前にて、地面に落ちていた水滴をモップで拭き取ろうとした際、水滴があちらこちらに落ちていたため、滑って転んで左膝の内側の靭帯を損傷した。また転んだ影響で、背中から首にかけて痛めた。	65	2	417	300～ 499
8	2017	10	11～ 12	第二工場ボイラー室南側ドアの上部に、脚立を使用してダンプラを設置しようとした際、脚立設置場所が不安定だったため、バランスをくずし壁を掴んだ。その際に左肩を痛めた。※ダンプラ：ダンボール形状のプラスチック、脚立に乗った状態でバランスを崩し、壁に手をついた時に骨折した。	73	1	371	100～ 299
9	2017	10	7～8	製麺室建物の屋根に設置してある貯水タンクが破損し、その状況を確認中に、誤って屋根のプラスチック部分に乗ってしまい、落下した。	45	1	416	100～ 299
10	2017	8	8～9	パイナップルを円型筒状に割り貫く機械にて、パインを掴んで固定する金属のアームと、アームを水平に一時固定する金属のストッパーに右手を巻き込まれ、中指と薬指を挟んだ。	47	7	165	—
11	2017	8	20～ 21	飲料製造工場内のパッケージングエリアで、ケースコンベアのオーバブリッジを渡った先で、部品を仮置きするために置いていたパレットに足を引っ掛け転倒し、左肩を強打し	56	2	417	—

				た。				
12	2017	7	10~11	屋外の洗剤送液用配管の自動洗浄が終了し、ストレーナーの手洗浄のためクランプを緩めストレーナーを取り出そうとしたところ、手動バルブ操作による配管内の残熱水の排液作業をしなかったため、熱水が噴出し、避けた際に背中から臀部に浴び火傷を負った。	20	12	391	300~ 499
13	2017	6	11~ 12	出荷作業中に、箱詰めとなった飲料水7L製品のPPバンド掛け、およびパレットへの積み込み作業を行っていた。積み込む場所が狭く、無理な体勢で製品を持ち上げようとしたため、腰に相当の負荷がかかり、ぎっくり腰を起こしてしまった。	49	19	611	50~ 99
14	2017	6	7~8	ビンを洗浄する機械の駆動箇所にグリスを塗り付ける作業をしていたところ、作業者が素手で運転中、上昇してきた機械に右手人差指第一関節、中指第一関節を挟まれた。	42	7	169	10~ 29
15	2017	5	16~ 17	廃棄品置場整理の為、テスト廃棄缶のプレス作業中に、プレス後の缶を型枠より取外す際に型枠がずれて左手人差指先端を型枠に挟み、指尖断裂した。	28	7	159	100~ 299
16	2017	5	8~9	抽出・調合の製造工程において、被災者が抽出後の茶カスの廃棄作業中、本来は茶カスの投入口は閉めておかなければならないが、常に開いており、また作業中はベルトコンベアを停止させ作業を行わなければならないが、それを怠り、作業中に足を滑らせ左足首をベルトコンベアに挟まれた。	45	7	224	30~ 49
17	2017	5	11~ 12	製造3課70ビン、検ビン工程において、午前作業後にコンベアの注油をしていた時、デパレタイザー（パレット積みした容器をコンベアに降ろすロボット）内のコンベアに注油しようとして、一時停止していたデパレタイザーの安全柵内に入し、注油口を確認しようとしてコンベアに頭部を入れた時、デパレタイザーのアームが作動して、作業者の頭部をコンベア	37	7	167	50~ 99

				上に押し付けてしまい、頭部を骨折した。				
18	2017	4	10~11	缶瓶ラインで空瓶供給作業中、積み上げたパレットシートが満杯になったため、フォークリフトで排出してもらおうと置場の囲い柵（地上約2.9メートル）を開けたところバランスを崩し、開けた柵につかまったが反動でそのまま落下した。	25	1	414	100~299
19	2017	3	1~2	作業中に便所に行く際、急いでおり、付近は外灯も無く辺りが暗かった為、通路の陥没した箇所に右足をとられ挫いた。	41	2	417	100~299
20	2017	3	10~11	製造課EラインからJラインへ業務状況を確認する為、ベルトコンベア下の通路を通ろうとした所、コンベアに頭部をぶつけそのままよろけベルトコンベアの柱に背部を打ち付けた。頭部はヘルメット着用していたため怪我は無かったが、背部に腫れと痛みが生じた。	54	3	224	50~99
21	2017	2	10~11	お客様宅へウォーターサーバー設置のため持ち上げた。その時、腰に違和感をおぼえたので少し休憩した。休憩後痛みが和らいだので仕事を続けたが、翌日起床時に立ち上がれない程の腰の痛みが出た。	27	19	611	10~29
22	2017	1	11~12	会社の工場で、ろ過後の温泉水を熱殺菌処理を行うため機械配管内を薬液洗浄した後（2週間に1回定期的な作業）、機械を作動させ配管内を確認したところ、浮遊物があったため洗浄をやり直そうとした際、配管内の製品水が高温（85℃程度）だったのにもかかわらず、配管継手を取り外してしまったため、配管内の製品水が漏れて両腕にかかり火傷した。	27	11	391	10~29
23	2016	12	21~22	製造に使用した香料計量用バケツを手洗い洗浄後に熱水を入れ保管していた。製造準備のため熱水を棄てる時に、不用意な作業を行ったため、誤って左足の長靴に熱水が入った。	26	11	715	100~299
24	2016	12	0~1	工場内、4号ラインプリフォーム搬送コンベア上部にて点検中、リミットスイッチに足が挟まり転倒。コンベアから宙吊	38	1	224	100~299



32	2016	10	10～ 11	パレットに積んであった原料の箱を持ち上げ、運ぼうとしたところ、滑って転倒し、床に膝をぶつけた。	46	2	417	30～ 49
33	2016	10	10～ 11	工場Aライン充填室内キャッパー前のステージ上にて、生製品の切替作業としてキャッパーのヘッド交換作業を座って行っている際、薬品がステージ上に垂れており、作業体勢維持の上でひざをつく姿勢をとらざるを得ず、薬品により作業着のズボンが濡れ浸透した事で、ひざ下の皮フを負傷した。	39	12	519	300～ 499
34	2016	10	14～ 15	屋外換気扇の確認のため、工場の屋根に脚立で登り換気扇を確認後、屋根から脚立で降りて戻る時、足を踏み外し、脚立から飛び降りた時、負傷した。	30	1	371	10～ 29
35	2016	10	16～ 17	倉庫で、荷物搬送用リフトに足の先を入れた途端にリフトが落ちてきて負傷した。	41	7	214	100～ 299
36	2016	9	16～ 17	飲料水を生産する工場で、壘に炭酸飲料を充填し王冠で蓋をした製品が、殺菌装置のコンベアから流れてくる所で作業をしている時、壘が倒れたか何かのはずみで急に壘が割れ、利き手である左手指を切創した。	29	8	529	1～9
37	2016	9	8～9	工場内の廃棄物処理場で、25kgのフルーツソースの廃棄物を持ち上げる際に右足で踏ん張り、その時に右足を痛めた。	54	19	611	30～ 49
38	2016	9	10～ 11	パレット積みした、加工原料を倉庫搬入する際、コンテナが崩れる恐れがあったため、コンテナを直そうとパレットに上がり、降りる際にバランスを崩し、転んで負傷した。	62	1	419	1～9
39	2016	9	9～ 10	包装室でケースコンベア上の外装の浮き上がりが発生するため、ガイド高さの調節を行っていたところ、回転してきたロータリータッカーに巻き込まれ、ガイドとの間に左手人差し指を挟まれ、骨折を負った。	55	7	169	50～ 99
40	2016	8	14～	工場の資材倉庫内において、パレタイザーのストッパーを切り替えようとして、柵内に入り、切り替え作業を行っていた	56	6	229	10～

			15	ところ、積み付け用のリフトが下降し、頭部を挟まれ負傷した。				29
41	2016	8	11～ 12	倉庫内で1ケース12kg強の製品をパレットに積み替える作業で、腰を屈めたり中腰での負担のかかる体勢のまま製品の積み替えやラップ巻きの作業を続けていた。その際、腰に急激な痛みが走ったのと同時に、右足にも強い痺れが起き、一時立てなくなり転倒し、歩行が困難となった。	23	19	611	10～ 29
42	2016	8	11～ 12	工場内の桃搾汁ラインで、桃を洗浄する為、桃の入ったコンテナをハンドクレーンでパレットからコンベアーへ移動する作業中、ハンドクレーンの脱着スイッチを押しコンテナを掴み持ち上げ様とした時に、誤って離す方のスイッチを押してしまった。コンテナからハンドクレーンが外れてしまい反動でハンドクレーンが持ち上がり、顔の距離が近かった為に、持ち手の部分が目に当たり眼球を裂傷した。	29	6	229	50～ 99
43	2016	8	9～ 10	先端にハンドガンのついたホースを用いて製造設備を清掃する準備をしていた際、通常温水が出るハンドガンにいつも以上の熱さを感じた為、出水を止めたところ、ホースが破裂して熱湯が両手にかかり、熱傷を負った。	28	11	379	100～ 299
44	2016	7	21～ 22	ケーサーラインを停止して、ボトル供給用コンベアのドレン板に付着したスライダー液カスの除去作業をしていた時、付近で別作業をしていた作業者が製造開始前の、設備確認のために操作盤上でケーサー一部だけを稼働させた。その時連動しないと思っていたボトル供給用コンベアが突然動き出し、その音に驚いた被災者が咄嗟に左腕を後方に引いたため、側にあった電力カバーに左腕をぶつけ打撲した。	44	3	169	10～ 29
45	2016	6	3～4	コーヒーを焙煎する時に発生するカスを搬送するスクリューコンベアにて、スクリューコンベア詰まりの復旧作業を行うため排水口から詰まりを解消する際、稼動中であるスク	36	7	224	50～ 99

				リューコンベアに手を巻き込まれて指を負傷した。				
46	2016	6	17～ 18	工場内にて包装ラインのシート補充の為シート供給機の上に乗りシートを止めているラップをはずし下に飛び降りた際、あやまって足をふみはずし落下。左足脛部をセンサーにて切創負傷した。	21	1	371	30～ 49
47	2016	6	11～ 12	完成品を保管してある倉庫内の出入り口付近で、リフトマンが完成品をリフトで外へ運び出そうと前進している時に、運転手から見て、出入口付近の向かって左側に2パレットの完成品とリフトが仮置きされてあった為、走行路が通常の約半分の幅になっていて、壁と商品の間隙に置いてある記入台から、被災者が書類を見ながら突然出てきたので、衝突を避けることが出来ず、被災者が転倒した際に、右手で体を庇った際に右肘に擦り傷、右足首を捻挫した。	58	6	222	30～ 49
48	2016	6	9～ 10	工場、水処理室にて、手洗い用薬液タンクに薬液補充時、次亜塩素酸ナトリウムを希塩酸用タンクに誤って補充し、塩素ガスが発生、これを吸引し、呼吸不全を起こした。	45	12	714	10～ 29
49	2016	5	1～2	緊急対応で自宅から工場へ向かう途中で交通事故に遭った。	32	17	231	—
50	2016	4	21～ 22	工場内のペット樹脂置場でこぼれたペット樹脂を掃除していた際、荷くずれをおこした2段積みのフレコンバッグの下敷きになった。	34	5	611	10～ 29
51	2016	4	16～ 17	雨水ピット内の返送用ポンプが故障したため、その原因を確認中、工具を取りにその場から移動しようとして一步踏み出した際、付近の段差部にて足の掛かりが不十分であったため、踏み外し足をぐねったような形で着地しそのまま転倒し左足を骨折した。	37	2	417	100～ 299
52	2016	3	18～ 19	工場の包装室で検品をしながら新人の箱詰作業を指導していた所、新人が誤った作業をしようとした為、その作業を止めようとして慌てて動作した際に左足を踏ん張りアキレス腱が	59	19	921	100～ 299

				断裂した。				
53	2016	3	14～ 15	樹木に梯子をかけ、伐採しようとしたところ、伐採した枝が自分の身体に接触し、バランスを崩した為、落下し負傷した。	70	1	712	300～ 499
54	2016	2	12～ 13	のし板調合室より退出する際に足マットが滑り転倒し、首、腰、背中を打撲した。	59	2	379	50～ 99
55	2016	1	10～ 11	パレタイザーのチェーン保守点検をしているとき、チェーンのたるみの確認作業を右手人差し指でしていたところ、機械が急に動き出し、チェーンのギアに挟まれ、右手人差し指を負傷した。	44	7	224	100～ 299
56	2015	12	7～8	飲料の準備作業を手伝っていた際に、排斥壘サンプルを取りに行こうとすると、左足に痛みを感じ歩くのが困難になった。	53	19	921	300～ 499
57	2015	12	10～ 11	工場内で飲料の充填作業中、床に延ばしておいたホースにつまずき転倒し、右足を骨折した。	56	2	417	10～ 29
58	2015	11	10～ 11	工場敷地内にて検体用の2?ペットボトル3本が入った箱を手持ちで運んでいた時、運搬経路をショートカットしようと、通行禁止経路を通り抜けようとした際、持っていた箱がガードレールに接触し、バランスを崩してそのまま後方約1.5m下の側溝へ落下した。	51	1	417	100～ 299
59	2015	11	7～8	原付から降りる際、地面に足を着いた時、腰に激痛がはした。	37	19	231	100～ 299
60	2015	10	15～ 16	450ラインのレトルト横にて、旧アイスビルダー撤去作業に伴う配管作業中に、昇降用固定はしごで登る時に、急いで作業を行っていたため、下より4段目より足を踏み外して落下し、左足の甲を骨折した。	58	1	371	100～ 299
				珈琲工場内の焙煎室で、大型焙煎機で作業中に、配管が詰ま				

61	2015	10	10～ 11	り、作業を停止し、通常は閉じているロータリーバルブのふたを外し、排出物を袋で受けていたが袋がバルブの口から外れたため、まだロータリーバルブ内の羽が完全に止まっていない中で慌てて再度袋を口に当てようとしたため、誤って指が羽に当たり負傷した。	34	3	165	50～ 99
62	2015	9	18～ 19	工場製造ラインでの品種切り替え作業で、キャップをセクターから抜く作業を行っていた。セクターは、フロアより高い位置にあり、固定梯子を使用し、キャップを抜き、梯子を降下していた。降下中、下から4～5段目で左足を踏み外し、そのまま左足から落下した。	22	1	413	50～ 99
63	2015	9	18～ 19	工場、搾汁ラインで搾汁終了後の掃除中、原料搬送用の回転ドラム（停止中）に左手を添え、体重を乗せてしまった。その際、回転ドラムが軽く動いてしまい、手首をひねった。	55	6	165	100～ 299
64	2015	8	11～ 12	工場内で冷気を逃がさないようにビニールカーテンを設置する作業途中、小型フォークリフトのパレット上で作業していたところ、バランスを崩し転落、腰を強打した。	55	1	222	50～ 99
65	2015	8	11～ 12	資材庫でサンプル検査が終了し、箒で床清掃をしているときに、近くで空コンテナを運搬し終えてバックしてきたフォークリフトの後輪に右足をひかれた。	57	7	222	50～ 99
66	2015	7	9～ 10	製品を積み付けする空パレットを所定の場所にセットした段階で、作業者がパレットの水濡れに気づいたため、ロボットを停止させてパレットの拭き上げ作業を行った。作業を行っている際に、何らかの原因によりロボットが誤作動を起こし、荷物を持ったアームが作業者の左背部に押し掛かる状態となり、左膝をパレットの側面金属フレームに打ち付け、擦り傷を負った。	53	7	167	50～ 99
67	2015	7	8～9	事業所で火災があり、消火しようとした際、燃え尽きた物が落下してきて体にぶつかり負傷した。	43	16	419	50～ 99

68	2015	6	8～9	飲料工場・調製室にて、液糖タンク循環ラインの残液を回収するフレキシブルホースの熱水（約90℃）殺菌を実施する為に、ハンドバルブを開けて熱水通水を開始。最初、少量であったが、満注にしようと、バルブを開けすぎ、ポリバケツ内のホースが暴れ、下半身に熱水を浴びた。	40	11	713	100～ 299
69	2015	6	14～ 15	工場殺菌室において、牛乳ライン殺菌機洗浄のため洗剤タンクにフレーク状の苛性ソーダを投入したところ熱水が噴き出し、右半身に浴びて火傷した。	42	11	519	100～ 299
70	2015	6	18～ 19	ペットボトル及び飲料の製造ラインにて、検品業務を行っていた。25m程前のラインで飲料の入ったペットボトルが詰まったため、解消しようとベルトコンベア脇に設置されているステップ台のところまで駆け寄り、高さ30cm程のステップ台に左足を掛けた際、左太腿の裏に違和感を覚えた。	41	19	371	100～ 299
71	2015	5	4～5	ライン製函機でカートン投入作業をしている時に不良カートンを発見し、そのカートンをボックスへ入れるために、移動中に、空パレット搬送用のローラーに左足つま先をひっかけて、右側に転倒した。その際に、左足外側踝を強打し、骨折した。	44	2	391	100～ 299
72	2015	5	16～ 17	ベランダ清掃中に、階段を降り、床で足を滑らせて肩から落ち、負傷した。	44	1	413	100～ 299
73	2015	4	0～1	液処理カーボネーターに液化アンモニアをボンベから本体に充鎮する作業を行っている時に、ボンベに装着したホースが不完全な状態で充鎮を始めた為にホースが外れ液化アンモニアが噴出して気化したアンモニアを吸い込んでしまった事により口の中、喉に火傷をした。	35	12	514	50～ 99
74	2015	4	9～ 10	茶葉原料室で計量器の月1回の校正をするために使用する10kg分銅を取り出して移動する時に、ロッカーの下の奥の方（20cm）に入っていたために前屈みの状態で取り出したた	46	19	611	50～ 99

				め、腰に負担がかかり急性腰痛症となった。				
75	2015	3	2～3	製品の仕込の為パレットに積まれた原材料資材の茶葉（袋入、13,125kg）を受入口より投入タンク付近へ移動させる作業を実施していた。その際、茶葉を持ち上げようとした時、腰に激痛がはしり、その場に倒れこみ、立ち上がれなくなった。	37	19	611	100～ 299
76	2015	1	11～ 12	焙煎機ローストファンのVベルトを点検する為、装置電源を切り、安全カバーを取り外し、点検調整を開始。Vベルトのテンション（張り具合）とベアリングの馴染みを確認する為、手でベルトを廻す作業を実施した際、Vベルトとプーリーの間に指を挟んだ。	26	7	165	50～ 99
77	2015	1	9～ 10	構内にあるゴミ置き場に段ボールを廃棄する為に入った際、手前に段ボールを抱えていた為、足元のマンホール段差に気づかず、足を踏み外してしまい右足を痛めた。	54	2	419	50～ 99
78	2015	1	16～ 17	使用予定の原料を倉庫より台車にて殺菌剤槽を通り原料保管室へ移動する際、床に付着した殺菌剤で右足を滑らせ、側面にあった台車に右足を強打した。	51	2	416	50～ 99
79	2014	12	12～ 13	製造作業中、ベルトコンベアが不調で動かなくなった際、電源を切り忘れ、コンベアの駆動ギアに付いているファンベルトを指でさわった際巻き込まれた。	38	7	121	10～ 29
80	2014	12	9～ 10	果汁の搾汁室で、果汁の搾汁中に、搾汁機前の傾斜コンベア最下流部のガイドに潰れたミカンが挟まっていた為、塩ビのパイプ棒でミカンを排除しようとしたところ、ガイド下部にパイプ棒が入り、運転中のコンベアとパイプ棒の間に左手が挟まれてしまい、左手がコンベアで運ばれガイドに巻き込まれ負傷した。	56	8	224	0
				建物フロント庇屋上の排雪を行うために4mの梯子を使用し				

81	2014	12	14～ 15	て降りようとしたところ、梯子2段目に足をかけた時に地面に接している、梯子下部が滑り、負傷者が梯子と共に地面に落下した。この際右足踵から着地し亀裂骨折した。	57	1	371	1～9
82	2014	11	10～ 11	工場本館側ブレンド原材料倉庫在庫ヤード屋根の上において、工事予定箇所の現場確認中、架台フレームに足を引っ掛け、屋根の波板部（地面）に右肩から転倒し負傷した。現場確認中、被災者はバインダー（当該箇所のリスト）を持っており、書類に一瞬目を向けた瞬間、気が付けば転倒していたとのこと（フレームがあったことは気付いていた）。	53	2	418	100～ 299
83	2014	11	16～ 17	生産終了し、給液配管内を昇温（90℃熱水）にて濯いだ後、ラインCIPテストの準備に移った。タンク配管内の残圧・残水を抜き、バルブ固定部のクランプを取り外した時に、配管内に少量残っていた熱水を首から胸にかけて浴びてしまった。日常作業の手順としては①残圧を抜く作業②スイングベント部にて配管内残水抜き作業、となるが、今回はバルブを外し、メクラ栓の取付作業が加わっていた為、残圧は抜いたがバルブ外しを先に行い、作業順序が変わってしまった。	22	11	169	100～ 299
84	2014	10	20～ 21	カカオ室にて、仕込み工程でタンク内のジャケットに蒸気を入れ原料温度を上げる作業で、通常はタンク底にあるジャケットのドレンバルブを締めたことを確認し蒸気を入れるが蒸気を先に入れた状態でドレンバルブの開閉確認に向かったところ、ドレンバルブが閉まってなかったため蒸気が出て右手に火傷を負った。	49	11	319	50～ 99
85	2014	9	16～ 17	工場内で昇降機上部を修理するため高さ90cmの踏み台から昇降機投入口蓋のステンレスに移動する時、左足が滑り機械の上に転倒し胸部を強打した。	62	2	169	100～ 299
86	2014	9	14～	原料昇降用エレベーター式リフトに、バスケットを設置し、上昇レバーを作動させたが、異物が混入しているのを発見し	53	7	214	100～

			15	抜き取ろうとして挟まれた。				299
87	2014	9	19～ 20	抽出液移送ライン熱水で洗浄後、フィルターハウジングの蓋を開けた際に、ハウジングから溢れ出した熱水（60度）を浴び、腰から下部に火傷を負った。配管内とハウジング内の熱水が抜け切れていない状態で蓋を開放してしまった為、熱水が溢れた。	31	11	715	30～ 49
88	2014	9	12～ 13	製品梱包用のダンボールをラインに乗せる作業中、他の業務に移る為、作業場から段差約400mの床面に降りた際、バランスを崩し、左膝をダンボールが置いてあった鉄製の枠にぶつけた。翌日になっても痛みが引かなかった為診察を受けた。	53	3	611	30～ 49
89	2014	8	8～9	工場内の充填塞に於いて、CIP（清掃）作業中、配管の継ぎ目を留めているクランプが振動で緩み外れてしまい、溢れた熱湯が両足の甲にかかり負傷した。	36	11	391	10000 ～
90	2014	7	19～ 20	照明を点けず暗がりの中、階段を降りようとしたところ、最上段から足を踏み外し階段下踊り場まで落下。左肘から着地し、左肘・左胸を強打し負傷した。	51	1	413	100～ 299
91	2014	7	14～ 15	クリーンルーム内で機械の泡洗浄をするため泡洗浄機の準備作業をしていた。エアーの元弁を開けて暫くすると、噴射側のホースが突然元から外れ、薬液（アルカリ性）が周囲に飛散し、両目に入り角膜を損傷した。	31	12	379	100～ 299
92	2014	7	10～ 11	フォークリフトから降りる際、左足をフロントカバーに引っ掛けたことにより、上体から地面に落下、その際右手首を強打し、骨折した。	63	1	222	50～ 99
93	2014	5	9～ 10	飲料の充填工程にてペットボトルが倒れ詰まっていたため、鉄製の足場（縦3.2m×横65cm×高さ80cm）に乗って直していたところ、別の箇所でも詰りが発生したため、別の足場へ	46	1	411	100～ 299

				急いで飛び乗ったところ、バランスを崩し、落下、足場の角で左脇腹付近を強打した。				
94	2014	5	17～ 18	ロッカー室で着替え中、すのこの上に乗って上段のロッカーを開けようとした際、すのこ上に置いていた荷物に引っ掛かり、バランスを崩して後ろへ転倒、足をひねり骨折した。	38	2	416	100～ 299
95	2014	5	4～5	PETボトル入り飲料充填ラインで、詰まったボトルをとろうとした時、駆動用ジョイント部に作業服の一部が巻き込まれ、右手を負傷した。	29	7	224	100～ 299
96	2014	5	14～ 15	25kg前後の原料の重さをはかる作業で、中腰の姿勢をとり、腰を痛めた。	50	19	921	50～ 99
97	2014	3	15～ 16	派遣先倉庫内にて、重さ約12kgかる飲料水入りのケースをレーンからパレットへ積込作業を行っていたが、不慣れな作業を継続的に行っていた為、腰に痛みが発生した。後日受診したところ、ヘルニアと診断された。	29	19	611	100～ 299
98	2014	3	1～2	PPバンドマシン（PPバンド梱包機）横の製品積荷用パレットを通行しようとして、左足をパレットの角に引っ掛け躓いた。	42	2	379	50～ 99
99	2014	3	20～ 21	工場内原料粉碎室で、原料投入作業をしている時に、原料が入っていた空のフレコン袋をフレコン袋に入れる際に、うまく入らなかったため反対側に歩いて回ろうとした時に、床のパレットと原料タンクの支柱にあった10cm位の間隙に足を挟みバランスを崩して転倒し、右足膝を捻り負傷した。	45	2	379	50～ 99
100	2014	2	11～ 12	生産ライン上で製品（天然水のボトル）の検品及び積み込み作業中、ラインの途中で発生した製品の詰まりを直し元の作業場所へ戻ろうとしたところ、足元に転がっていたガムテープを踏んで体勢を崩して転倒し、右足首をひねって受傷したもの。	18	2	416	10～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。